

## 連携等の方策

テーマ	実現すべき病院の将来像	将来像を実現する方策
地域に提供すべき役割を果たすために	① 東海市・知多市地域で期待される二次救急の役割を全うする病院 ▶ 救急搬送の受入れ体制が充実している病院 ▶ 病診連携の受け皿となる主要な診療科を備える地域の中核病院	○ 医師、診療科の集約による病院機能の充実 ○ 地域特性にあった医療サービスの提供 (ア) 両病院で当直・オンコール体制を共同で運用し、重複を無くした連携 (イ) どちらかの病院に救急拠点を一本化 (ウ) 役割分担による医師、診療科の集約 (エ) 両病院の医療資源の連携
	② 三次救急病院である市立半田病院などの機能を補完する病院 ▶ 三次救急病院が本来の役割を果たすため、キャンパシティの確保に貢献する病院 ▶ 知多半島医療圏における地理的な状況を考慮し、緊急性の高い心筋梗塞や脳卒中などの救急医療対応が可能な病院	
	③ 勤労者層の多い産業都市における保健衛生・医療に対応する病院 ▶ 周産期（小児・産科）医療に対応する病院 ▶ 労働災害・職業病対策として必要な診療科が充実している病院 ▶ 健診・人間ドック等の提供体制が充実している病院 ▶ 介護との連携等、高齢社会に対応する病院	
医師の確保と定着のために	① 医師が魅力を感じる病院 ▶ 特色のある医療技術が学べる病院 ▶ 多様な症例への対応ができる病院 ▶ 複数の医師による当直体制がとれる病院 ▶ 成果や努力に応じた報酬等、頑張った人が報われる病院 ▶ 研究・研修制度が整っている病院	○ 医師・研修医の勤務環境の改善 (ア) 役割分担による医師、診療科の集約 (イ) 両病院の医療資源の連携 ○ 研修医受入れ環境の整備 (ウ) 臨床研修の共同プログラムの構築 (エ) 指導医養成講習会への派遣 ○ 待遇の整備 (オ) 待遇・福利厚生面での支援を充実
	② 研修医が魅力を感じる病院 ▶ プライマリケアが学べる臨床研修病院 ▶ 臨床研修プログラムが充実している病院 ▶ 研修医を指導できる医師が充実している病院	
経営の健全化のために	① 地域（住民、診療所）から信頼され、受診される二次医療病院 ▶ 病床稼働率が高く、経営が安定している病院 ▶ 高い水準の医療サービスを提供できる病院	○ 両病院の経営改善 (ア) 経営は別々のまま、可能な連携による改善 (イ) 経営を統合し、役割分担による改善 (ウ) 完全統合による改善
	② 経営視点からの病院運営 ▶ 地域ニーズを把握して経営できる病院 ▶ 病院経営に関する権限の付与された病院	